

| | |
|---|---------------|
| 教員名：浅岡 章一 | 教員所属学科：人間心理学科 |
| 科目名：知覚心理学 | |
| <p>「履修する時にシラバスをよく読んだ」の評価が平均で3.5と低くなっています。履修者の殆どが1年生であるため、シラバスを見るという作業ができていないのかもしれませんが。この点に対応するため、毎年初回授業時にシラバスに記載してある内容については必ず解説をしています。また成績の基準に関してもシラバスに明記してあり、これも初回授業時および小テスト返却時に毎回解説していますので、シッカリ理解して頂きたいと思えます。「授業内容はわかりやすいものだった」の得点が3.9と平均よりも低めになっていました。その一方で予習・復習に関しては、資料をエドクラテス上に事前アップしているにも関わらず、全学平均よりも取組んでいる人が少ないと思われる結果となっていました。この授業では、最低限の予習・復習を行うことを前提として講義のレベルが設定されています。予習・復習を行わない学生さんには難しく感じるでしょう。その一方で、ある程度予習・復習さえ行えば、十分に理解できる内容だと思えますので、授業内で予習・復習をするよう伝えていきたいと思えます。学生の私語等の注意に関しては、4.0と平均より多少低めになっていました。大人数を対象とした授業であるため、目の行き届かない点はあると思いますが、出来る限り学習に集中できる環境を整えるよう努力していこうと思えます。</p> | |

| | |
|---|---------------|
| 教員名：薊理津子 | 教員所属学科：人間心理学科 |
| 科目名：基礎ゼミナール | |
| <p>この科目は1年生必修科目であり、大学で学ぶ上での基本姿勢などを身につける場であった。出席率はよく、評価は平均的4.0であった。全体的には肯定的な評価が多い一方で、成績の評価基準をあまり理解していないことがこのアンケートによって分かった。明確にテストを実施する科目ではないので分かりにくかったかもしれないので、以降はこの点について明言するよう注意したい。</p> | |

| | |
|---|---------------|
| 教員名：金田正明 | 教員所属学科：経営社会学科 |
| 科目名：経済学概論 | |
| <p>高い評価をいただき、有難うございました。いくつかの設問に結果に対して、コメントさせていただきます。</p> <p>1、「授業中の学生の受講態度と出席率に、みなさんが高い評価をくださっている件について」 経済学概論が教職課程の必修科目であることで3、4年生も受講しているためか、みなさん自身が評価しているように、私語も少なく真剣に授業を受けてくれたことに感謝します。これは設問17の「学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営に努めた」で1名を除き、4と5の評価を22名（合計23名）からつけていただいたことの裏返しですが。</p> <p>2、「授業への予習・復習に時間をかけなかったという学生が11名いた件について」 次回から宿題を増やしたり、事業前に行う小テストの回数を増やしたりして、みなさんが授業中以外でも経済学の基礎について勉強する機会を増やしたいと思います。</p> <p>3、「授業を通して多くの知識を得た」と「授業の目的が明確である」にも好評価（評価4と5の合計が、それぞれ19と20）をいただき、有難うございます。特にミクロ経済学を中心に授業を行いました。簡単な理論でも理解して、世の中の社会現象を見てみると、何故それが起こったのか、これからどうなるのかなどの予想もでき、みなさんの役に立つのではと考えます。最後に1名の学生から、期末試験が難しいとのコメントをいただきました。1年次から履修できるこの科目は経済の基本のみを教えています。本来、これは試験ではないと同僚の先生からお叱りを受けるかもしれませんが、みなさんには過去に出題した期末試験問題も事前に配り、それを何回かに分けてみなさんと一緒に解答し、ほぼ似たような試験問題しか出していません。授業で教えたことしかできません。みなさんの理解度をみる試験だと言えます。過去問を参考に勉強すれば、必ず合格する科目です。これより「簡単な問題」では、大学の授業では無くなり、アカデミックな環境が保たれないと、私は思っています。記述していただいた学生に感謝します。以上です。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| 教員名：田辺江美子 | 教員所属学科：非常勤講師 |
| 科目名：日本国憲法 水曜日3限 | |
| <p>この科目は、こどもコミュニケーション学科1年の必修科目でした。おおよそ、すべての項目で全学平均に近いが、やや低い評価でした。教職必修科目ですが、高校で公民あるいは世界史を選択していない場合もあり、用語も難解で、どちらかという学生のみなさんにとって難しい講義であったと推察いたします。しかしながら、出席率については評価平均が4.8であり、また授業の目的についての理解は、評価平均が4.0であり、みなさんが熱意をもって課題に取り組んでくださったことに感謝いたします。なお、予習・復習については、全学平均2.6よりはやや高い3.0でした。これは、憲法の時事問題についての授業内報告に1人ひとりが、一生懸命に取り組んでくれたことの表れだと思いますが、みなさんの余力はまだあると信じています。今後は、もう少し、予習・復習の課題を、宿題として提出する試みを増やしたいと思います。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| 教員名：田辺江美子 | 教員所属学科：非常勤講師 |
| 科目名：日本国憲法 水曜日 4 限 | |
| <p>この科目は、こどもコミュニケーション学科を除く全学共通の科目です。受講生のほぼ半数が教職必修科目として受講していました。おおよそ、すべての項目で全学平均に近い評価か、やや低い評価でした。受講生は、1 学年から 4 学年と多岐にわたり、また高校で公民あるいは世界史を選択していない場合もあり、憲法や社会・政治についての理解度は、たいへん幅のあるクラスでした。用語は難解で、どちらかという学生のみなさんにとって難しい講義であったと推察いたします。しかしながら、出席率については評価平均が 4.8 であり、また授業の目的についての理解は、評価平均が 3.9 であり、みなさんが熱意をもって課題に取り組んでくださったことに感謝いたします。なお、予習・復習については、全学平均 2.6 よりも低く 2.0 でした。これは、憲法の時事問題についての授業内報告に 1 人ひとりが、一生懸命に取り組んでくれたものの、みなさんの余力はまだあったのだと反省しています。もう少し、予習・復習の課題を、宿題として提出する試みを増やしたいと思います。なお、自由記述で、「勉強になりました」「日本国憲法について深く関わった」と記述してくださった学生のみなさんに感謝いたします。たいへん励みになります。</p> | |

| | |
|---|---------------|
| 教員名：山本隆一郎 | 教員所属学科：人間心理学科 |
| 科目名：健康カウンセリング概論 | |
| <p>この科目は、配当年次 3 年生の選択科目である。授業の内容に関する項目への評価平均点は 4.7 点と概ね高評価を拝受し、身の引き締まる思いです。今年度着任のため、試行錯誤しながら授業を行ってきました。次年度以降も受講学生さんの興味を拡大できるよう内容のアップデートを心がけたいと思います。しかしながら、本科目の性質上、学生さんが興味を持ちやすい内容であることを自覚しています。また、予習・復習に時間を費やしたかという項目は低いものでした。わかりやすい・理解しやすいに加えて、健康カウンセリングという環境と個体の相互作用に関する授業をしている教員として、自発的な学びへの動機づけに繋がるような（単に課題を出すのではなく、自発的な学びのプロンプトとなるような）授業づくりを心がけていきたいと思っています。</p> | |

| | |
|---|---------------|
| 教員名：山本隆一郎 | 教員所属学科：人間心理学科 |
| 科目名：基礎ゼミナール | |
| <p>この授業は、全学的な1年生前期の必修科目であり、江戸川大学人間心理学科の学生として望ましい基本的な学習態度・生活態度を身につけ、主体的に学習してゆく姿勢の確立を目指しています。そのため、まずは大学での生活に慣れること、高校までの教わると違った大学での自ら問題解決をするための基本的な視点を身につけることを目標に授業を行ってきました。授業の内容に関する評価平均としても4.7点と高く、このことは、皆さんが大学という新しい環境に適応することができたことと解釈しうれしく思います。また、自由記述も「楽しかった」という内容が多く、科目の趣旨からもこの点はまずうれしく思ってもよいかと思います。しかしながら、このことから「問題解決のための基本的な視点や主体的な学習の構え」につながったかが分かりにくかったです。この授業評価アンケートは、感想や好き嫌いというよりも、この授業が全体のカリキュラムや自分の大学生の学びとしてどうだったかを省察し、そこに基づいて評価をしてもらうものであると思います。大学の授業の価値はエンターテインメント性の有無ではありません。「楽しい」と「よい」を混同せずに今後も大学でしかできない学びを主体的に進め、知的興味を広げていってもらえたら、基礎ゼミナールの趣旨が伝わったかなと思えると思います。</p> | |

| | |
|--|--------------|
| 教員名：吉村 季織 | 教員所属学科：非常勤講師 |
| 科目名：表計算演習 | |
| <p>全学的傾向ではあるが、予習復習がしっかりと行われていないことに懸念を感じます。情報系授業やPCの操作などは積み重ねが重要なので、分からないところはしっかりと復習して、次の積み重ねに備えるようにしましょう。「答えているのに聞こえていなくて逆ギレされた」との意見がありました。個人的には逆ギレした記憶はありませんが、強めに注意した記憶があります。逆ギレとの印象を受けたようなので、今後言い方を変えていきたいと思います。一方で、本人も自覚しているように、聞こえていないという事実がありました。また、授業では視力が悪くスクリーンの文字が読めていないという学生がいました。黒板（白板）やスクリーンの文字を読み、教員に聞こえるように答えるのは、授業の基本です。声が小さい、視力が悪いなどがある場合、席の位置などを工夫して、きちんと読み取れる、声が伝わる位置に座るようにしてください。「質問が仕方などが悪く理解できない」との意見がありました。この意見に対する心当たりはありますが、この時にはどんなことでもいいので、気づいたことを応えてほしいため、あえて明確な質問をしませんでした。言い換えると、正しい答えはありません。大学での学びや今度の社会では、正当がないことも多くなってきます。与えられたものから、自分なりの意見を述べるができるようにしていきましょう。</p> | |

| | |
|---|--------------|
| 教員名：吉田一康 | 教員所属学科：非常勤講師 |
| 科目名：企業と法 I | |
| <p>全般的に、平均値の高い評価をして頂き、どうもありがとうございます。特に設問 16「話し方は明確だった」及び設問 18「教員の授業に対する熱意を感じた」、設問 19「総合的に考えて、この授業を後輩や他の人に薦めたい」が 4.6 の評価で、稚拙だった講義技術が、少しは上手くなったのかなと、少し安心しました。</p> <p>ただし、設問 13「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」が 4.4 の評価であったことから、板書について配慮が必要と思いました。もともと悪筆ということもあり、美しい文字は書けませんが、大きくて見やすい文字を書くように心掛けようと思います。</p> <p>また、設問 6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が 3.0 だった点については、講義内で、次週のテーマの紹介や課題を与えるなどの工夫が必要と考えました。</p> <p>設問 7「成績の評価基準を理解している」が 4.3 だった点については、評価基準はシラバスに記載しておりますが、最初の講義だけでなく、その後も何度か、説明する必要があるように思いました。</p> <p>学生の受講態度については、遅刻者と居眠りがややみられますが、講義中は、毎回、驚くほど静かで真面目なものでした。</p> | |